令和3年司法試験の結果について

九州大学法科大学院長　小池　泰

令和3年9月8 日、令和3年司法試験の結果が発表されました。

本学の修了生 17名が合格いたしました。詳細は以下の通りです（括弧内の数字は全国の順位です）。

項目	全国	本学
○受験者数	3024 名	58名
そのうちの既修者の数	1824 名	36名
そのうちの未修者の数	1200 名	22名
○最終合格者数	1047名	17名（15位 ）
そのうちの既修者の数	829 名	15名（14 位 ）
そのうちの未修者の数	218名	2 名（24位 ）
○最終合格率（最終合格者数／受験者数）	34.62%	29.31%（21位 ）
既修者	45.45%	41.67%（17位 ）
未修者	18.17%	9.09%（39 位 ）
○法科大学院修了直後の者の最終合格率	52.40%	39.02%（20位）
既修者	60.97%	53.57%（18位）
未修者	26.58%	7.69%（25位）

令和3年司法試験における本法科大学院の最終合格者数は 17 名、最終合格率は29.31%でした（21 位。全国平均は34.62%）。過去5年の本法科大学院の最終合格率の順位は、平成29年 19 位、30 年 9 位、令和元年 11 位、令和2年9 位と、近年は上位 10 校に定着する傾向を示していたところ、今回の結果は非常に厳しいものとなりました。

詳細な分析はこれからですが、①未修者の合格率の向上、②2回目以降の受験者の合格率の向上という課題があることは明らかです。また、本法科大学院の既修者コースの成績上位層は近年と同様の結果を収めていることから、既修者の課題は、中間層の学力向上にあると考えております。

いずれにせよ、全国平均を4年ぶりに下回った今年の結果を詳細に分析して、教育課程を含めた必要な見直しをおこなうことで、次年度以降の巻き返しを図っていく所存です。